

キャブレターセッティング方法

キャブレターはエアとガソリンの混合比率でセッティングを行います。そのため、混合比が濃い・薄いどちらかの状態でエンジンの調子が変わります。当セッティング方法はモンキーユーザー様向けに分かりやすく解説しております。

エア量が多過ぎる
・プラグ先端が黒い煤がつく。
・マフラー排気ガスが濃い。
・クリーナーを外すと調子が良くなる。
・暖気後、エンストする。
・チョーク作動時に調子が悪い。

エア量が少な過ぎる
・チョーク作動時に調子が良くなる。
・プラグが白く焼けている。
・息つきをお越し、スピードが伸びない。
・馬力が無く、回転が落ち着かない。
・エンジンがオーバーヒートする。

○セッティングの準備

- ・セッティングは必ず暖気後に行います。ご使用のプラグはメーカー指定の熱価を厳守してください。
- ・スロットルは急激にひねると吸気量が追いつかず、ストールする場合がありますので、その場合はゆっくりと開けるように心がけてください。



青マーク	メインジェット（スロットル開度 2/4~4/4）
赤マーク	パイロットジェット（スロットル開度 1/4~2/4）
緑マーク	エアスクリュウ（アイドリング時に調整）

*パイロットジェット変更前にエアスクリュウ調整を行ってください。

○ジェットニードル（スロットル開度 1/4~2/4の調整）

加速時に回転がついて来るのか、付いてこないのかを確認する。息つきをする場合は濃くしてください。回転が重く、排気ガスが濃い（黒色）の場合は薄くしてください。Eリングの溝段数を調整することで、燃料の濃さを変えられます。Eリング位置が1段目→5段目に下がるにつれ混合気が濃くなります。



○エアスクリュウ

スロー系の空気流量を調整します（アイドリング時）。

- ・エアスクリュウを右に回す→混合気が濃くなる。
- ・エアスクリュウを左に回す→混合気が薄くなる。

*パイロットジェット交換時にはエアスクリュウ調整が必要となります。

標準戻し回転数（1.5回転）に合わせ、左右に1/4~1/2回転ずつ回しエンジンの回転数が最も高くなる位置に調整します。アイドルストップスクリュウで安定した回転数まで下げ、もう一度エアスクリュウで最も回転が高くなる位置に調整します。

○パイロットジェット

エアスクリュウの戻し量が3回転以上の場合、パイロットジェットを小さくしてください。エアスクリュウが全閉になる場合はパイロットジェットを大きくしてください。パイロットジェットはアイドリング~低速走行時にエンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。回転上昇に谷間が発生する場合はパイロットジェットが小さ過ぎます（アイドリング回転時）。排気が濃く排気音が重たい場合、パイロットジェットが大き過ぎます（アイドリング回転時）。

○メインジェット

メインジェットの番数（#）を上げると混合気が濃くなります。

プラグの焼け具合を確認し、キツ色に焼け上がりになるようセッティングを行います。

セッティングのマメ知識

- ・標高の高い場所で気圧が下がると、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。
- ・真冬など、気温が極端に低い場合、空気密度が上がり、キャブレターの混合気は薄くなります。
- ・雨天の場合は湿度が上がるため、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

◎キャブレターセッティングに関するジェット類、キャブレターメンテナンスに必要な工具、フィルターなどはミニモトにてお取り扱いを行っております。

注意：

- ・走行前に各部のネジ類のゆるみがないことをご確認ください。
- ・マフラー交換はエンジンが冷めてから行ってください。
- ・法定ルールを守り安全走行を心掛けてください。

発売元：ミニモト

〒391-0013 長野県茅野市宮川7495